



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月12日

上場会社名 カバー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5253 URL https://cover-corp.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)谷郷 元昭
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員CFO 兼経営企画室長 (氏名)金子 陽亮 (TEL)03(6280)4036
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	20,451	49.7	3,417	84.2	3,385	82.6	2,508	101.6
2022年3月期	13,663	138.7	1,855	9.2	1,853	8.7	1,244	1.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	42.04	38.35	48.0	28.1	16.7
2022年3月期	20.87	-	44.0	31.6	13.6

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 -百万円 2022年3月期 -百万円

- (注) 1. 2022年3月期の潜在株式調整後当期純利益については、潜在株式は存在するものの、2022年3月期末において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
 2. 当社は、2022年12月14日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。
 3. 当社は、2023年3月27日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から当事業年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	15,887	7,006	44.1	114.56
2022年3月期	8,238	3,457	41.9	74.31

(参考) 自己資本 2023年3月期 7,002百万円 2022年3月期 3,453百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	4,866	△2,759	1,040	7,793
2022年3月期	3,537	△793	-	4,644

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	26,562	29.9	4,650	36.1	4,623	36.6	3,236	29.0	52.95

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	61,124,200 株	2022年3月期	59,624,200 株
② 期末自己株式数	2023年3月期	- 株	2022年3月期	- 株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	59,657,077 株	2022年3月期	59,624,200 株

（注）当社は、2022年12月14日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における国内外の経済環境は、国内においては年度末にかけて新型コロナウイルス感染症に関する防疫措置の緩和が推進された一方で、ウクライナを巡る地政学リスクの影響や国際的なインフレの進行等により、引き続き先行き不透明感が強くなっております。

このような環境のもと、当社はミッションとして「つくろう。世界が愛するカルチャーを。」を掲げ、日本発のエンターテインメント・カルチャーを作り出し世界中のユーザーに広めていくことにより、日本のユニークな強みであるアニメ、ゲームといった文化に関わるクリエイターの活動の場を増やしていくことを目指しております。

当事業年度につきましては、ライブ配信に加え、ショート動画や楽曲等を通じた多面的なコンテンツ供給にも注力し、結果として当社所属VTuberのYouTubeチャンネル登録総数（注1）は2023年3月末時点で7,558万人（前期比23.1%増）まで伸長致しました。新規デビューVTuberとしては、2022年7月及び2023年1月に英語圏向け男性VTuberグループ「ホロスターズEnglish」より計8名をデビューさせており、所属VTuber及びそのファン層の多様化を企図しております。その結果当事業年度の配信/コンテンツ分野の売上高は通年で6,342,733千円（前期比20.8%増）となりました。ライブ/イベント分野におきましても、2023年1月に実施した、《星街すいせい2nd live「Shout in Crisis」》及び同年3月に実施した《hololive SUPER EXPO 2023 Supported By Bushiroad》、《hololive 4th fes. Our Bright Parade Supported By Bushiroad》といった大型イベントの盛況が寄与し、同分野の売上高は通年で3,429,004千円（前期比55.6%増）となりました。

また、当事業年度においては前述のサービス分野において高まったIPの付加価値をベースに、コマースビジネスの規模が大きく拡大しており、マーチャндаイジング分野の売上高は通年で8,003,091千円（前期比65.6%増）ライセンス/タイアップ分野の売上高は通年で2,676,183千円（前期比94.2%増）となりました。マーチャндаイジング分野においては、プロダクトミックスの改善により収益性の改善も進捗しております。

以上の結果、当事業年度における売上高は、20,451,013千円と前期と比べ6,787,284千円（前期比49.7%増）の増収、営業利益は、3,417,173千円と前期と比べ1,562,001千円（前期比84.2%増）の増益、経常利益は3,385,233千円と前期と比べ1,531,255千円（前期比82.6%増）の増益、当期純利益は2,508,234千円と前期と比べ1,263,768千円（前期比101.6%増）の増益となりました。

(注) 1 YouTubeチャンネル登録総数は、2023年3月31日時点の所属VTuber及び公式のYouTubeチャンネル登録数の総和

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は、前事業年度末より7,648,887千円増加し、15,887,009千円となりました。これは主に、現金及び預金が3,148,586千円、新スタジオ建設に伴う建設仮勘定が1,687,435千円、売掛金が1,246,320千円、新規事業の開発に伴うソフトウェア仮勘定が804,918千円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は、前事業年度末より4,100,028千円増加し、8,880,701千円となりました。これは主に、自社ECの受注販売額が増加したことにより前受金が1,875,299千円、買掛金が601,280千円、未払費用が553,922千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は、前事業年度末より3,548,859千円増加し、7,006,308千円となりました。これは利益剰余金が2,508,234千円、上場に伴う増資により資本金が520,312千円、資本剰余金が520,312千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ3,148,586千円増加し、7,793,282千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動により獲得した資金は、4,866,720千円となりました。これは主に、増加要因として、税引前当期純利益3,352,833千円、前受金の増加による収入1,875,299千円、減少要因として、売上債権の増加額1,246,320千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動により支出した資金は、2,759,105千円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1,463,229千円、無形固定資産の取得による支出899,184千円、オフィス増床に伴う差入保証金の増加による支出478,511千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動による獲得した資金は、1,040,625千円となりました。これは、株式の発行によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社は、中長期戦略として①付加価値の高いIPの開発とファンベースの確立、②コマース展開と先行投資、③メタバースサービスの展開の3段階の事業拡大戦略を掲げ、持続的な成長を目指してまいります。

2024年度3月期としましては、ホロライブプロダクションのブランド価値の更なる向上を目指しつつ、より幅広いファン層の獲得も意識した複数の新規VTuberのデビューを予定している他、同事業年度から稼働を開始する新規の大型スタジオも利用した多様なコンテンツの提供を計画しております。

日本国外への展開に関しましては、2022年4月に始動した一連の海外イベント企画「hololive Meet」を継続し、本事業年度においても多数の海外イベントへの出展を予定している他、国外のライセンス企業に対するライセンスビジネスの拡大も推進してまいります。

また、足許のマーチャндаイジングの売上構成は、個別VTuberの熱心なファン層に向けた受注生産・販売前提の商品の構成が大きくなっており、販売チャネルもECが中心となっておりますが、プロダクションとしてのブランド力やIP商品の企画・販売体制の拡充に伴い、より幅広い消費者層に向けて常時、販売可能な収益性の高い商品の開発と小売店販売も含む販売チャネルの拡充も予定しております。

加えて、2024年内のリリースに向けて開発中のメタバースサービス「ホロアース」に関しましては、機能検証のためにβ版を公開中の「ホロアース ロビー」における課金機能のテスト実装やホロアース上のバーチャルライブの機能検証を目的としたライブイベントの実施等、ユーザーを巻き込んだ開発を計画しております。

これらの事業展開を踏まえ、2024年度3月期の業績予想につきましては、売上高を26,562,982千円（前期比29.9%増）、営業利益を4,650,958千円（前期比36.1%増）、経常利益を4,623,958千円（前期比36.6%増）、当期純利益を3,236,771千円（前期比29.0%増）と予想しております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は各事業開発分野の開発進捗等に応じて予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、株主構成及び国内の同業他社の動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,644,695	7,793,282
売掛金	1,970,237	3,216,557
商品	257,323	338,430
前払費用	92,464	158,976
未収入金	14,648	60,521
前渡金	151,690	168,155
未収消費税等	37,830	-
その他	9,857	17,684
貸倒引当金	△10,300	△12,746
流動資産合計	7,168,447	11,740,862
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備 (純額)	17,114	15,753
工具、器具及び備品 (純額)	194,509	196,804
建設仮勘定	-	1,687,435
有形固定資産合計	211,623	1,899,993
無形固定資産		
特許権	-	3,438
商標権	16,814	36,248
ソフトウェア	10,966	50,082
ソフトウェア仮勘定	170,317	975,236
無形固定資産合計	198,098	1,065,007
投資その他の資産		
差入保証金	512,604	909,295
繰延税金資産	147,287	271,820
その他	59	30
投資その他の資産合計	659,951	1,181,145
固定資産合計	1,069,674	4,146,146
資産合計	8,238,121	15,887,009

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,482,955	2,084,235
未払金	29,558	377,986
未払費用	521,881	1,054,240
未払法人税等	269,739	772,916
前受金	2,222,582	4,097,882
預り金	106,538	193,861
賞与引当金	104,805	210,185
その他	117	46,898
流動負債合計	4,738,179	8,838,207
固定負債		
資産除去債務	42,493	42,493
固定負債合計	42,493	42,493
負債合計	4,780,672	8,880,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	452,808	973,121
資本剰余金		
資本準備金	449,808	970,121
資本剰余金合計	449,808	970,121
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,551,011	5,059,246
利益剰余金合計	2,551,011	5,059,246
株主資本合計	3,453,628	7,002,488
新株予約権	3,820	3,820
純資産合計	3,457,448	7,006,308
負債純資産合計	8,238,121	15,887,009

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	13,663,728	20,451,013
売上原価	8,388,956	11,054,870
売上総利益	5,274,772	9,396,143
販売費及び一般管理費	3,419,600	5,978,969
営業利益	1,855,171	3,417,173
営業外収益		
受取利息	26	97
為替差益	1,651	1,490
受取補償金	13,131	-
その他	1,185	784
営業外収益合計	15,995	2,372
営業外費用		
上場関連費用	-	22,423
和解金	15,888	11,557
その他	1,299	330
営業外費用合計	17,188	34,312
経常利益	1,853,978	3,385,233
特別損失		
固定資産売却損	-	2,574
固定資産除却損	997	198
関係会社株式評価損	341	-
減損損失	211,483	29,626
特別損失合計	212,822	32,399
税引前当期純利益	1,641,155	3,352,833
法人税、住民税及び事業税	504,372	969,131
法人税等調整額	△107,682	△124,532
法人税等合計	396,690	844,599
当期純利益	1,244,465	2,508,234

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						新株予約権
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	452,808	449,808	449,808	1,306,546	1,306,546	2,209,163	3,820
当期変動額							
新株の発行							
当期純利益				1,244,465	1,244,465	1,244,465	
当期変動額合計	-	-	-	1,244,465	1,244,465	1,244,465	-
当期末残高	452,808	449,808	449,808	2,551,011	2,551,011	3,453,628	3,820

	純資産合計
当期首残高	2,212,983
当期変動額	
新株の発行	
当期純利益	1,244,465
当期変動額合計	1,244,465
当期末残高	3,457,448

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						新株予約権
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	452,808	449,808	449,808	2,551,011	2,551,011	3,453,628	3,820
当期変動額							
新株の発行	520,312	520,312	520,312			1,040,625	
当期純利益				2,508,234	2,508,234	2,508,234	
当期変動額合計	520,312	520,312	520,312	2,508,234	2,508,234	3,548,859	-
当期末残高	973,121	970,121	970,121	5,059,246	5,059,246	7,002,488	3,820

	純資産合計
当期首残高	3,457,448
当期変動額	
新株の発行	1,040,625
当期純利益	2,508,234
当期変動額合計	3,548,859
当期末残高	7,006,308

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,641,155	3,352,833
減価償却費	99,495	112,576
減損損失	211,483	29,626
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,969	2,445
賞与引当金の増減額 (△は減少)	62,007	105,380
固定資産売却損	-	2,574
固定資産除却損	997	198
関係会社株式評価損	341	-
受取利息	△26	△97
売上債権の増減額 (△は増加)	△968,329	△1,246,320
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△204,078	△81,107
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,075,792	601,280
未払費用の増減額 (△は減少)	360,416	532,358
前受金の増減額 (△は減少)	2,174,477	1,875,299
その他	△172,006	121,061
小計	4,277,756	5,408,111
利息の受取額	26	97
法人税等の支払額	△740,312	△541,487
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,537,470	4,866,720
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△327,874	△1,463,229
無形固定資産の取得による支出	△156,515	△899,184
差入保証金の差入による支出	△309,550	△478,511
差入保証金の減少による収入	-	81,821
投資活動によるキャッシュ・フロー	△793,940	△2,759,105
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	-	1,040,625
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	1,040,625
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,751	345
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,745,280	3,148,586
現金及び現金同等物の期首残高	1,899,415	4,644,695
現金及び現金同等物の期末残高	4,644,695	7,793,282

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、VTuber事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	74.31円	114.56円
1株当たり当期純利益	20.87円	42.04円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	-	38.35円

- (注) 1. 2022年3月期の潜在株式調整後当期純利益については、潜在株式は存在するものの、2022年3月期末において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
2. 当社は、2022年12月14日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っておりますが、2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 当社は、2023年3月27日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から当事業年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
4. 1株あたり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
(1) 1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
当期純利益(千円)	1,244,465	2,508,234
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,244,465	2,508,234
普通株式及び普通株式と同等の株式の期中平均株式数(株) (うち普通株式)	59,624,200 (34,880,000)	59,657,077 -
(うちA種優先株式)	(11,299,200)	-
(うちB種優先株式)	(13,445,000)	-
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
当期純利益調整額	-	-
普通株式増加数(株)	-	5,739,163
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	-	-

- (注) A種優先株式及びB種優先株式は、剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式として扱っております。

5. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,457,448	7,006,308
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	865,444	3,820
(うちA種優先株式)(千円)	(199,995)	-
(うちB種優先株式)(千円)	(661,628)	-
(うち新株予約権)(千円)	(3,820)	(3,820)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,592,004	7,002,488
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	34,880,000	61,124,200

(重要な後発事象)

該当事項はありません。